

# 地域ネットワークニュース

～平成24年1月の勉強会のお知らせ & 12月の勉強会報告～



あけましておめでとうございます。

本年も地域ネットワーク勉強会を宜しく願っています。

第168回 地域ネットワーク勉強会

## 「精神障害、こんな時どうする？」

～入院されている方への作業療法を参考に～



1月26日(木)

午後7時～午後9時

神栖市保健・福祉会館内

参加費無料

講師：鹿島病院 作業療法室 科長 黒沼誉氏 作業療法士

「部屋にこもりきりでなかなか出られない」「幻覚や妄想に悩まされ物事がうまくできない」「人と上手に関われない」など、統合失調症やうつ病などの精神疾患を患っていると様々な面で生活が制限されてしまいます。

精神科作業療法は、このような生活の制限をなるべく軽減できるよう、気持ちに寄り添いながら個々の能力を引き出すリハビリテーションを提供しています。

その作業療法の内容は、手工芸やプラモデル作り、運動やゲーム...といった一見すると遊んでいると思われてしまう内容が多く散見されます。しかしながら、この工程には利用者個々の精神状態への配慮とそれぞれの目的に合わせた支援の工夫があります。

鹿島病院作業療法室でも同様の作業療法が展開されていますが、「患者さん一人ひとりの目的に沿って継続していく作業療法は試行錯誤の連続」と講師の黒沼さんは語ります。

うまく出来ずに悩んでいた、周囲が困っていることに対して、作業療法の視点で普段どのように支援しているのか、その関わり方や特にコミュニケーションを図る上での工夫について報告頂きます。

精神科リハビリテーションや作業療法に関心のある方はもちろん、精神科等に受診中の方やそのご家族のみなさん、障害者支援従事者等々の参加をお待ちしています。

お問合せ：電話 0299-93-0294 神栖市社会福祉協議会 地域福祉推進センター 三浦



第167回 地域ネットワーク勉強会報告 12月15日開催〈参加者98名〉

『発達が気になる子』の支援～発達障害児への療育実践を参考に～

講師：菊池春樹氏（神経科クリニックこどもの園／精神保健福祉士）

「支援に大事なことは、支援者が対象児と身体の距離、心の距離を近づけることだと思っています。」この言葉は、菊池先生が多動のお子さんへの支援事例を通して、支援のポイントとして話されたものです。

「言葉が通じにくく、次の行動が予測しにくいお子さん。いつ・どこで・どんな行動をするのか、一瞬早く伝わる心の距離と、不適切な行動を本人にも気づかせないぐらいに制止できる身体の距離。さらに欲を言えば、手をつなぐ、お子さんから手をつないでくるぐらいの距離になることが理想。」その理想に近づくために、本人を理解し、支援を工夫しながら距離を縮めていくことが大切であると実感しました。

また、参加者が二人一組で発達障害の特性を疑似体験するワークの時間もあり、もりだくさんで充実した研修会になりました。

アンケートの集計結果及び感想については本会ホームページに掲載中です!!